



清和文楽の 里まつり

令和元年度 農産物品評会

審査結果

| 品目 | 総出品数 | 最優秀賞 (1等) |
|----------|------|-----------|
| 穀物 | 13 | 藤本 京子 |
| 栗 | 33 | 下田 千秋 |
| トマト | 48 | 佐藤 友治 |
| バラエティトマト | 4 | 藤本まつよ |
| ピーマン | 10 | 富永 武功 |
| 葉菜類 | 5 | 林 富美子 |
| その他野菜 | 12 | 稲葉 秀三 |
| 乾物 | 33 | 渡邊 洋子 |



産物として伝統ある乾物の生産を継続継承していただきたいと思えます。

地域の方々には、地域の特産物として伝統ある乾物の生産を継続継承していただきたいと思えます。

野菜は、梅雨明けが遅かったうえに、お盆過ぎからの長雨で、生産者にとって大変ご苦労の多かったことと思えますが、トマトやニラ、その他バラエティに富んだ野菜の出品がありました。

栗は、虫食いや劣化が少なく実が大きい物が多く、山都町の栗の品質の高さを再認識させられました。入賞された方、惜しくも入賞を逃した方も県内を代表する産地として、優秀な栗を生産していただきたいと思います。

【講評】

まつりの冒頭、農産物品評会の表彰式が行われ、総数158品から選ばれた最優秀賞8品に賞状と副賞が贈られました。各部門ごとに講評が行われました。

清和文楽館では、県内唯一の人形浄瑠璃である清和文楽をより多くの方々に楽しんでもらうと「雪おんな」のミニ公演が無料で行われました。

計3回の公演でなんと443名の方が鑑賞され、公演後には、人形体験や写真撮影を楽しまれました。

当日は晴天に恵まれ、山都町の美味しい野菜や特産品の販売会、地元の方々による出店、木工教室、バルーンアートなど盛りだくさんの内容を楽しみ家族連れや観光客で賑わいました。

ステージイベントでは保育園児による可愛いダンスや演舞、小・中学生や地元有志による迫力満点の太鼓演奏やバンド演奏、情緒ある文楽所作踊り等が披露され、会場を盛り上げました。

9月14日に今年で37回目の開催となる「清和文楽の里まつり」が、清和文楽邑で開催されました。